



巨費3億を投じ、完成された市立留萌小学校全景

3ヶ年計画全工

ボクとわたしの
バレエコー



▲家庭科教室



▲普通教室



▲放送室



◀視覚教室



◀図書館

事が完了、普通教室42も

マンモス校舎

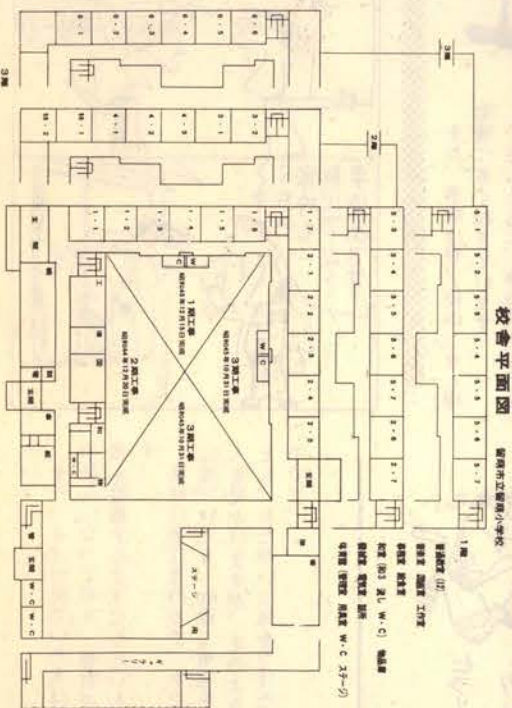
トが2面もとれる体育館



▲屋内体育館



▲保健室



校舎平面図 留萌市立留萌小学校

▼図画室



完備され、普通教室四十二、視覚
観会議室、保健室、理科、家庭科
図書室などが、教育に必要な各室
が整備されています。
完成までの経過を見ると、四十
三年七月に第一期工事が開始（上
図参照）され、四十四年第二期工
事で前面管理部門が完成された。
そして四十五年第三期工事によ
り校舎後側と体育館が完成した。
この建設中に、旧校舎の全焼（
四十四年十一月三十日）などとい
う不測の災害に見舞われたが、遂
に三月五日落成され、新しい歴史
に向かってスタートを切ったわけ
である。
明日の時代を担う子どもたちの教育
施設として、道内でも数少ないマ
ンモス校舎の誕生に市民の期待が
寄せられています。
校舎内の一部をここで紹介して
みましょう。

病院・水道

五十年には四万七千人給水 病院は市民の健康管理センター めざして設備の充実を

企業会計では、水道、病院事業
があります。
水道については、さる四十一年
から進められてきた、第五期拡張
工事が完了されましたが、ことし
からは、市内の配水管改良工事五
ヶ年計画を策定し、二億二千万
（五ヶ年間）の工事費を投入し、
より市民サービスにつとめます。
第五期工事の完了で、停電時の

断水等もなくなるはずであり、こ
の五ヶ年計画が五十年に完了する
と、現在の四万七千人から四万七
千人の給水能力を持つことになり
ます。

また、市民の健康管理センター
としての市立病院は、一ヶ月平均
入院患者が三百人、外来患者五百
人以上の管理を行なっています。

財 政

台所は苦しいが 効果的な使い道を

地方自治体の財政は、全国的に
ますます苦しくなっています。留
萌市もその例外ではありません
自主財源の培養に努力すること
は勿論ですが、新たな行政需要
による組織の拡大や、人件費など
の経費を節約し、より行政の効率
化を進め、少ない財政で効果的な
運営をめざした行政を進めます。
また、景気抑制策などによる困

難な経済情勢の中で、留萌市にと
っても、新たな開発事業は見送ら
ざるをえず、継続事業を主軸とし
た予算編成になっています。
より効果的な予算の使い方、つ
まりは家庭の主婦と同じようなも
のです。
大切な皆さんの財政を、より進
めることは、私の責務と考えてお
ります。

校舎落成まで

さる四十二年から三ヶ年計画で
新築工事が進められてきた、市立
留萌小学校が昨年十一月ついに完
成しました。
完成された校舎は、総面積七千
九百平方メートル、鉄筋コンクリート三
階建て、総工費約三億一千三百万
円という巨費を投じただけに、管
内はもろろ道内でも数少ない整
備された校舎が誕生しました。
校舎内は水洗便所、熱風暖房が